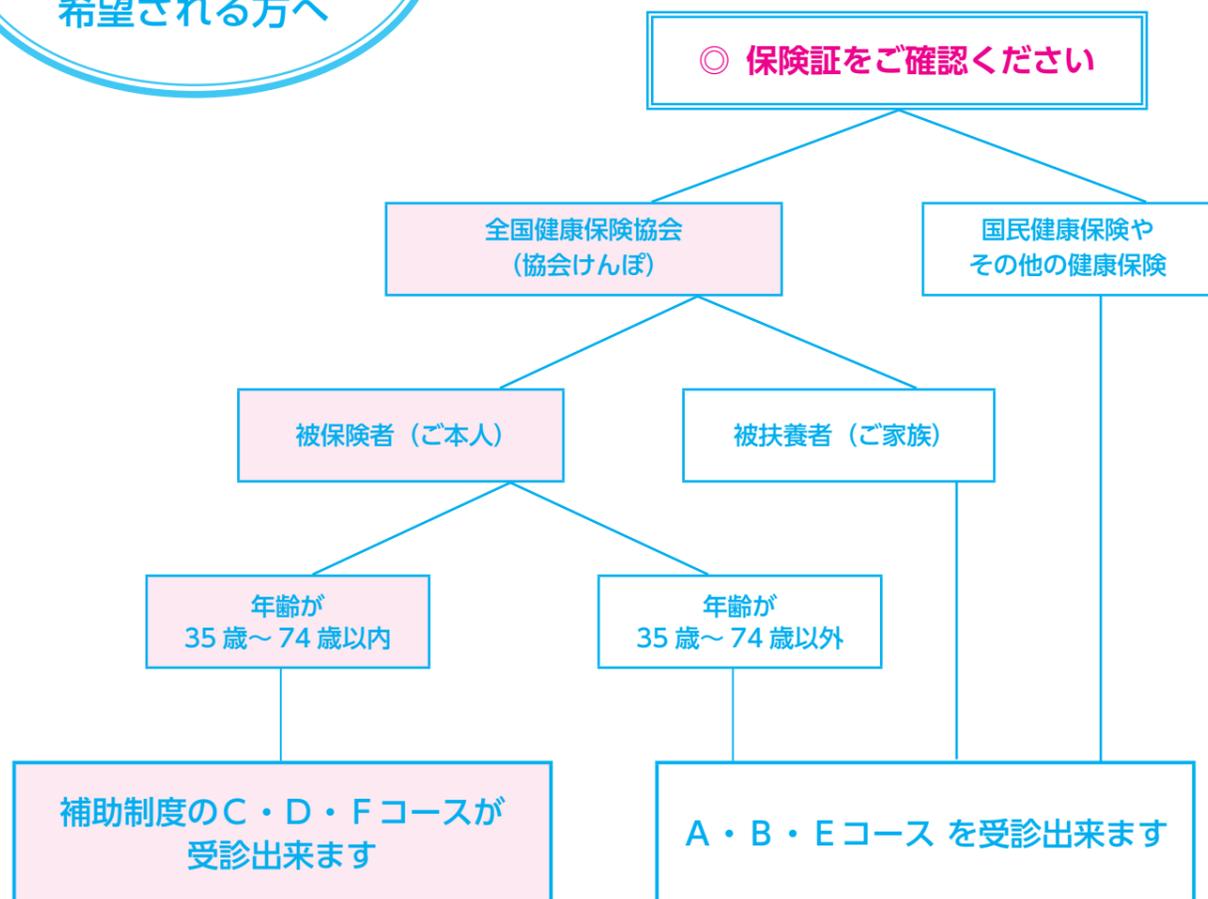


全国健康保険協会
(協会けんぽ)
補助制度の利用を
希望される方へ



* 申込書に〈保険証記号・番号〉を必ずご記入ください。

「協会けんぽ」のご案内

全国健康保険協会(協会けんぽ)にご加入の被保険者(本人)は、協会けんぽが健診費用の一部を補助する制度が利用できます。

対象者は、**35歳**(H1.4.2生～H2.4.1)～**74歳**(年度中に75歳になる方は誕生日の前日)までの被保険者(本人)のみとなり、被扶養者(ご家族)は対象外となります。

補助制度利用の方は、別紙“法人会『生活習慣病予防健診』受診申込書”に保険証記号及び保険証番号を必ずご記入ください。

補助制度は年度内1回のみ利用できます。

※他の健診機関で協会けんぽの「生活習慣病予防健診」を受診している場合や、補助を利用して「人間ドック」を受診している場合は、法人会の協会けんぽ扱いのコースは受診できません。

◆協会けんぽ補助制度に関する問合せ先

全国健康保険協会長野支部 TEL (026) 238-1253
<https://www.kyoukaikenpo.or.jp/>

法人会生活習慣病予防健診のご案内

生活習慣病は、35歳を過ぎる頃から増え始め、働き盛りの40代以上でますます増加していきます。

この生活習慣病の早期発見と治療のため、生活習慣病予防健診を年1回は受診いただくことをお勧めします。

当会では、福利厚生事業の一環として『生活習慣病予防健診』を(一財)全日本労働福祉協会の協力を得て実施しています。僅かな時間と費用で、安心かつ容易に受診いただけるよう、3コースをご用意。さらに、肝炎ウイルス検査や頸動脈超音波検査など13項目のオプション検査の申込みが可能で、より一層充実した健診内容となっています。

また、全国健康保険協会(協会けんぽ)にご加入の被保険者は、補助制度の利用で受診者の費用負担が抑えられますので、詳細につきましては各コース案内をご覧ください。

さらに、法人会福利厚生制度「法人会経営者大型総合保障制度」被保険者への受診料補助に加え、当会独自の割引制度として、前回受診者への補助も行っております。

どうぞこの機会に法人会『生活習慣病予防健診』をご利用くださいますようお願い申し上げます。

受診コース・費用(税込)

☑ 受診コースに「Aコース」～「Fコース」があります。健診内容を確認してコースをお選び下さい。また、「オプション検査*」(別料金)についてもご検討下さい。

基本コース

A: 通常受診 17,000円
C: 協会けんぽ扱い 5,613円

ドック健診コース

B: 通常受診 27,000円
D: 協会けんぽ扱い 14,113円

プレミアドックコース

E: 通常受診 31,000円
F: 協会けんぽ扱い 18,113円

* オプションのみの申込みはできません。



健診・検診は
定期的に
受けましょう



オプション検査(別料金・税込)の同時受診をお勧めします

オプション 1 (採血)

肝炎ウイルス検査 4,000円

日常生活の場では、C型肝炎ウイルスやB型肝炎ウイルスに感染することはほとんどないとされていますが、肝臓病の主な原因は肝炎ウイルスによるものです。B型肝炎ウイルスに感染すると急性肝炎を引き起こし、C型肝炎ウイルスに感染すると慢性肝炎から、将来、肝硬変や肝臓がんになるリスクが増します。自覚症状が現れにくいので、からだの変調に気づいたときにはかなり病気が進行してしまっていることもあり早期発見、早期治療のためには検査をお勧めします。特に40歳以上で過去に検査を受けたことのない方にお勧めの検査です。

オプション 3 (採血)

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査 ロックスインデックス (LOX-index)

12,500円

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準とも言われ近年若年化も進んでいます。特に、脳梗塞は寝たきりの原因No1とも言われており、心筋梗塞は突然死を招く最大の疾患とも言われています。この検査は、健康診断時に約2~4ml程度の血液検査を実施することで、将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度を予測する検査です。

脳梗塞・心筋梗塞にはいくつかの危険因子があるとされており、特に以下の傾向のある方は動脈硬化が進んでいる可能性が高く、検査でリスクを調べてみることをお勧めします。

- 肥満気味である
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病などの持病がある
- 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- たばこを吸っている。もしくは吸っていた
- 定期的に運動をしていない

オプション 4

頸動脈超音波検査 6,600円

動脈硬化によって厚くなった血管壁やこびりついたプラーク(脂肪などの繊維)や血栓などの有無を調べます。



同時に血管が狭くなっているかの評価も可能です。食事の制限もなく、被ばく等の心配もありません。

オプション 2 (採血)

アミノインデックス (AICS) 検査 23,000円

採血検査により血液中のアミノ酸の濃度バランスを見て、採血時点でのがん罹患のリスクを評価する世界初、最先端の検査です。がんの疑いを早期に発見するスクリーニング検査です。



※確定診断検査ではありません。

＜特徴＞

- ① 1回の採血(1回5ml)で5~6種類のがんリスクが一度にわかる。
 - ・男性5種：胃、肺、大腸、すい臓、前立腺
 - ・女性6種：胃、肺、大腸、すい臓、乳、子宮・卵巣
- ② リスクを評価する検査なので、自覚症状のない早期がんの発見にもつながる。
- ③ 乳がんや子宮がん検査も、採血による検査なので、女性に優しくとても安心。
- ④ 採血1分で終了。どんな検診より断然早くて手軽。

1. 検査の対象者について

対象がん	対象年齢
胃がん、肺がん、大腸がん 膵臓がん、乳がん	25歳~90歳
前立腺がん	40歳~90歳
子宮がん、卵巣がん	20歳~80歳

*上記の対象年齢以外の方が受診された場合でも検査結果は報告されますが、AICS値やランク判定結果は評価対象外となります。

2. 次に該当する方は、AICS値に影響がありますので検査を受けられません。

- ① 妊娠されている方
- ② 授乳中の方
- ③ がん患者(治療中を含む)の方、または既往歴のある方
- ④ 先天性代謝異常の方
- ⑤ 透析患者の方

オプション 5

腸内フローラ検査 16,500円

事前に検査キットをお配りして、採便をしていただきご自身の腸内環境を分析する検査です。ご自身の腸内環境のタイプ、生活習慣病・その他の疾患との関連性、注目の有用菌、腸内フローラの構成、腸内環境の変化などが分かります。

※この検査は申込後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。

オプション 6 (採血)

View アレルギー39検査 13,000円

血液検査でアレルギーの方に特異的に上昇するたんぱく質を調べて、39項目の物質の中で何がアレルギーの原因なのかを調べます。アレルギーをお持ちで、ご自身のアレルギー原因物質が特定できていない方にお勧めです。

オプション 8 (採血)

男性に
おすすめ

前立腺腫瘍マーカー検査 (PSA) 1,700円

“腫瘍”があると血液の中に出てくる物質をチェックするのが腫瘍マーカー検査ですが、最近では「PSA」(前立腺特異抗原)が注目されています。この「PSA」は前立腺の異状に的を絞って反応し、“がん”が進行すると数値も高くなり発見されます。その他前立腺肥大症や膀胱腫瘍も発見されます。種々の腫瘍マーカー検査の中でも診断上最高の検査といわれています。特に50歳以上の男性にお勧めの検査です。

オプション 10

女性に
おすすめ

下腹部超音波検査 (子宮、卵巣) 3,000円

女性の子宮疾患、腫瘍などの早期発見に適しています。ご家族に婦人科系の疾患や、卵巣がんの家族歴がある方にお勧めです。膀胱越しに下腹部の臓器を観察するため、検査前に十分に尿をためて検査を行います。

オプション 12 (採血)

女性に
おすすめ

乳がんマーカー (CA15-3) 1,500円

がんになるとがん細胞が血液中に放出するたんぱく質(腫瘍マーカー)の量を血液検査で調べます。乳がんにも有用な腫瘍マーカーの一種です。

オプション 7 (採血)

甲状腺検査 4,400円

TSHは甲状腺刺激ホルモンと呼ばれ、甲状腺ホルモンを作る調節をしています。このホルモンバランスが崩れると甲状腺の機能異常が疑われます。代表的な疾患としてバセドウ病、慢性甲状腺炎(橋本病)などがあります。



オプション 9

女性に
おすすめ

乳房超音波検査 1,700円

近年、乳がんは発生率・死亡率ともに増えていますが、治療法も発達して必ずしも切除しなくても治るようになりました。この検診では、乳房内に向けて超音波をあて、その反射波を映像化して乳房の断層像を調べ、がんとの識別の難しい乳腺症やのう腫の診断にも威力を発揮しています。

乳がんは自分でも早い時期に発見できますので定期的な自己チェックと年1回は乳がん検診をお勧めします。

オプション 11 (採血)

女性に
おすすめ

卵巣がんマーカー (CA125) 2,000円

がんになるとがん細胞が血液中に放出するたんぱく質(腫瘍マーカー)の量を血液検査で調べます。卵巣がんにも有用な腫瘍マーカーの一種です。その他子宮内膜症、子宮筋腫、良性の卵巣嚢腫にも反応します。女性特有の疾患リスクに幅広く対応する腫瘍マーカーです。

オプション 13 (採血)

女性に
おすすめ

子宮がんマーカー (SCC) 1,600円

がんになるとがん細胞が血液中に放出するたんぱく質(腫瘍マーカー)の量を血液検査で調べます。子宮がんにも有用な腫瘍マーカーの一種です。